

令和3年度第3回番組審議委員会議事録

1 発送年月日 令和4年3月30日（水）

※今回は新型コロナウイルス感染症対策のためリモートで開催。事前にデータ便または郵送にて資料を送付した。

2 委員の出席

- ① 委員総数 9名
- ② 出席委員数 6名（審議資料が返送されてきた委員）
- ③ 出席委員 小林慶太郎（四日市大学 教授）
服部洋明（メガネの隆明堂 店主）
出口 功（菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長）
三輪栄子（（公財）四日市市シルバー人材センター）
堀内あかね（菰野町観光協会）
笹岡邦清（暁石鯨株式会社 取締役）
- ④ 欠席委員 藤井博光（ライブハウス フルハウス 元店主）
矢田敏浩（（公財）四日市市文化まちづくり財団
四日市市文化会館）
大塚徳人（四日市大学 環境情報学部 学生）
- ⑤ 放送事業者側出席者氏名 諸岡 太（CTY-FM 局長）
山本浩之（CTY-FM チーフディレクター）

3 議題

審議番組 番組名 午後キャン（午後のキャンパス）※収録番組
※よっかいちかふえ内 コーナー番組
放送日時 令和4年3月18日（金）
12時30分頃～約20分間

5 審議概要

CTY-FM 局長 諸岡太より今年度、第3回目の番組審議委員会開催のお知らせと、新型コロナウイルス感染症対策のため、今回の開催も自粛しリモートでの開催の旨をご説明の文書とともに審議資料音源、審議用紙など一式を発送またはメールにてお送りしました。委員に到着後、ご意見、ご感想などを審議して頂き、ご返送いただきました。以下はその内容をまとめたものです。
尚、今年度も昨年度に続きコロナ禍の中、思うようにお集まり頂く事が困難なかった状況であったことと、リモート開催ゆえの不行き届きな点などが多々あった事へのお詫びを書面にてあわせてお伝えし、引き続き来年度も番組審議委員会へのご協力をお願いした。

7 審議内容

会社：地元四日市大学、有志達の企画・制作によるトーク番組です。

しかし、ただ番組を制作して自分達の放送したいことを放送するだけでなく、番組制作の全てを自分達で考え、作り上げることで、企画力・提案力・遂行力・実現力を少しでも養ってもらい、最終的には公共の電波を使い自分達の情報を発信することで、社会人としての責任感を少しでも感じてもらいたいとする教育的プログラム要素を含んだ番組です。

番組聴取： 番組名 午後キャン（午後のキャンパス）※収録番組

※よっかいちかふえ内 コーナー番組

放送日時 令和4年3月18日（金）

12時30分頃～約20分間

委員： とてもチームワークの良さが感じられる番組だと思います。

委員： トークの内容も若者らしい内容で、とても明るく聞き取りやすいです。

委員： 一般的な意見ですがとても爽やかで好感が持てる番組です。

委員： 地元の大学を身近に感じる事に出来る番組で、可能であればずっと続けて欲しいと思います。

委員： 学生生活の中で誰でも陥りやすい誘惑などについて、結構真剣に語っていて、ちゃんと反省したり、今後どうすれば良いのかという結論まで導き出しているところにすごく好感が持てました。

委員： 今年度最終回という事でしたが、最終回らしく番組をきちんとまとめることが出来ていました。今年度の努力の成果でしょうか。

委員： リスナーからのメッセージ紹介や、その内容を膨らませて番組を展開してゆく過程がとても上手だと感じました。

委員： 時々リスナーを置き去りにした感がありますが、軌道修正しようと努力・工夫しているところに好感が持てました。

委員： 学生さん達が標準語ではなく、聞きなれた地元の言葉で普通に会話しているところが、安心感につながっています。

委員： 地元四日市の大学なので地元の大学ならではの“あるある”をもっと聞きたかったです。

委員： 地元の大学生の視点で見る地元四日市について、もう少し踏み込んで話して欲しかった。

委員： 事前収録という事できちんと編集されており、番組の流れに澁みがなく、聴いていて心地良かった。

委員： かなり親しそうな感じで会話をしていますが、友達？サークル？いずれにしてもとても気持ちの良い親しさが伝わってきました。

委員： 番組コンセプトが教育的プログラム要素があるとの事で、難しい番組かと思っていましたが、意外にも緩い番組で聴き易かったです。

- 委員：番組冒頭のBGMが少し大きすぎて、それぞれ学生さんの自己紹介がやや聞き取りにくかったのが残念でした。
- 委員：今回で最終回という事で、番組が終わるのか、スタッフが変わるだけなのか、特に説明がないのでわかり難かったです。本当に最終回であるならば番組審議委員会の議題にする必要はないのでは？
- 委員：言葉の選び方や分かりやすい説明の仕方などについては、局の方で指導が必要なのではないでしょうか。
- 委員：大学のPRという観点から見れば、マイナスに働く可能性のある微妙な会話の内容がありました。関係者から見ればちょっと残念な思いをする方がいらっしゃるかもしれません。
- 委員：ダイエットの話題については学生だけではなく、社会人にも共感出来る話でした。
- 委員：トークオンリーの約20分間はちょっときついかないと思いましたが、とてもスムーズで自然な流れのトークで、変な緊張感もなく、本職も顔負けの番組でした。
- 委員：若者にありがちな大声を出して盛り上げたり、キンキンと高い声でまくしたてるような事もなく、やわらかい三重弁で耳ざわりが良かったです。
- 委員：地元密着の放送局として、地元の言葉を大切にした番組を今後も作り続けて欲しいと思いました。
- 会社：貴重なご意見をたくさんありがとうございました。まだまだご意見があろうかとは思いますが、ご意見やご感想などがございましたらその都度、ご教授いただきたく存じます。今回はリモート開催ご協力いただきありがとうございました。

次回開催日 令和4年6月頃にリモート開催を予定

8 審議会の答申などに対してとった処置

9 記事の公示

CTY-FM ホームページにて公示